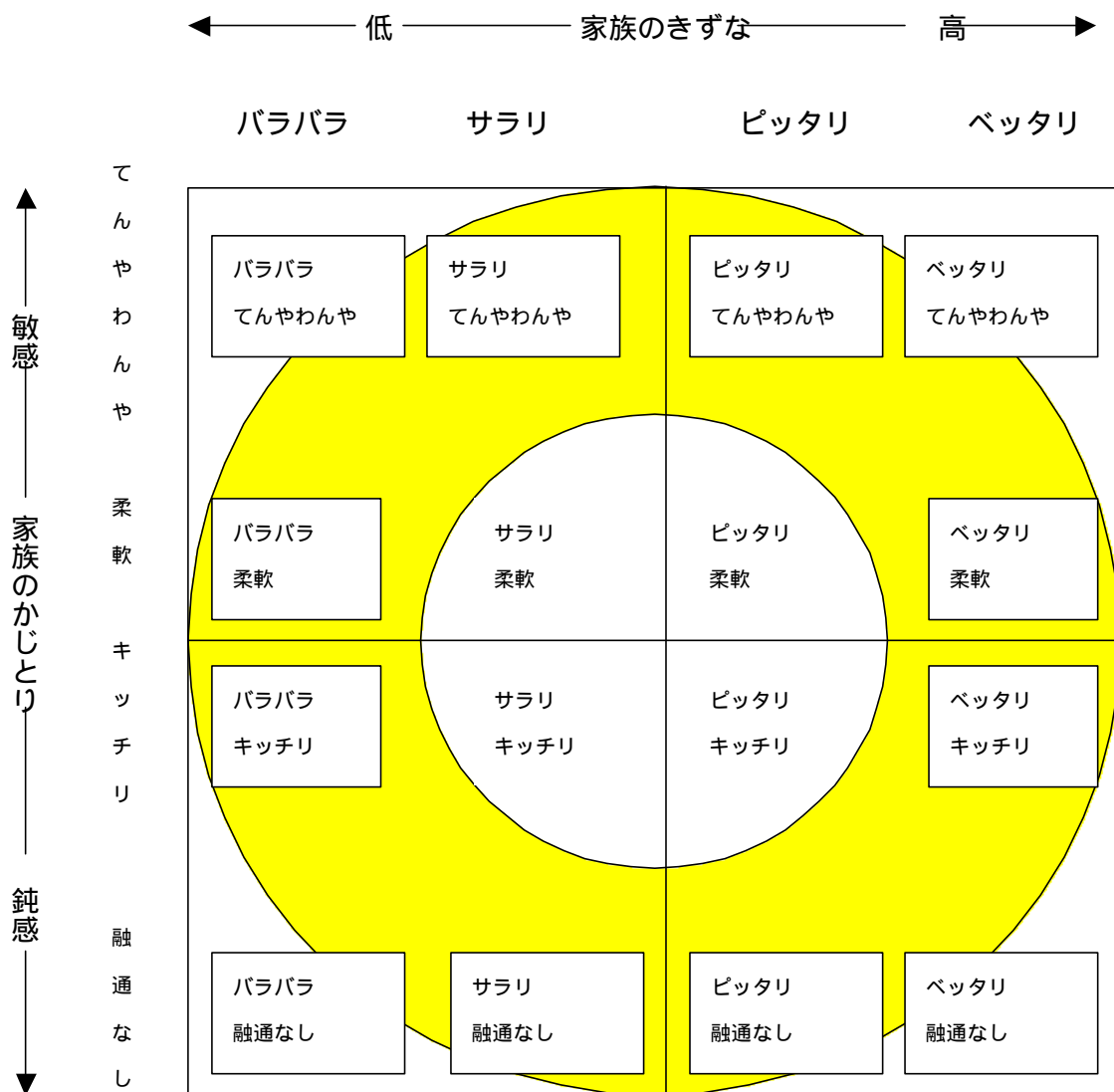


〔 8 〕 家族関係

問 25 では家族関係についてたずねた。ここでは家族システム評価尺度 FACESKG -8 を利用した。家族システム評価尺度は、家族システム円環モデルに基づいており、家族関係の機能度を「きずな」と「かじとり」という二つの側面から調べる。

きずなとは、家族成員間の心理的・社会的な距離を指す。一方かじとりとは、家族内のリーダーシップや役割関係、決まりなどを状況の変化に応じて変化させる柔軟性を意味している。円環モデルによれば、通常の世界生活では「きずな」・「かじとり」ともに中庸でバランスが取れた場合に、家族関係の機能度が最も高まると想定する。逆に、いずれの側面でも、「極めて低すぎる」か、あるいは逆に「極めて高すぎる」場合には、家族成員を支える力が弱まると考える。

【家族システムの類型】



< 家族関係がジェンダー・フリー度に与える影響 >

家族関係で、きずな・かじとりが中庸でバランスの取れている人は、ジェンダー・フリー度が高い

きずな（問 25-2） かじとり（問 25-1,6,8）とジェンダー・フリー度の比較できずな・かじとりが中庸にバランスが取れた時、ジェンダー・フリー度が最も高かった。

表43 問 25 - 2(きずな)とジェンダー・フリー度

きずな	ジェンダー・フリー度 得点平均値	問
バラバラ	15.72	夫婦ともお互いの気持ちを考慮して物事を考えることが少ない
サラリ	16.46	子どもが落ち込んでいる時はこちらも心配になるが、あまり聞いたりしない
ピッタリ	16.52	夫婦でいると安心できる
ベッタリ	15.95	誰かの帰りが遅い時には、その人が帰るまでみんな起きて待っている

図43 問 25 - 2(きずな)とジェンダー・フリー度

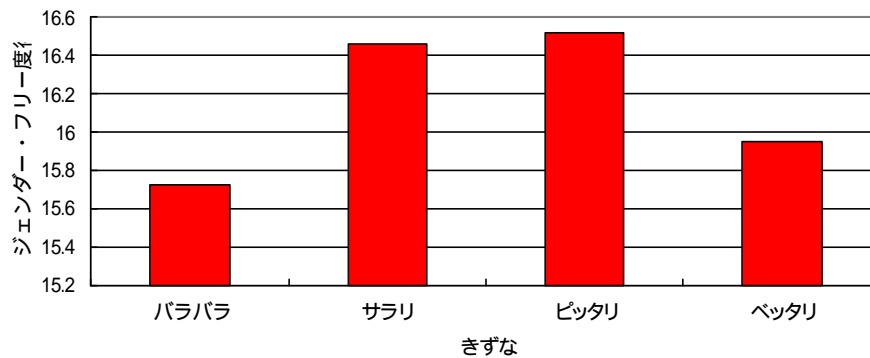


表44 問 25 - 1(かじとり)とジェンダー・フリー度

かじとり	ジェンダー・フリー度 得点平均値	問
融通なし	15.17	困ったことが起こった時、いつも勝手に判断を下す人がいる
きっちり	16.04	我が家では、特定の誰かが命令的に言うことも多いが、話し合うこともできる
柔軟	16.74	問題が起こると家族みんなで話し合い、決まったことはみんなの同意を得たことである。
てんやわんや	16.09	我が家では何か問題があってもとことん追いつめられないと、問題の解決方法さえ話し合われない。

図44 問 25 - 1(かじとり)とジェンダー・フリー度

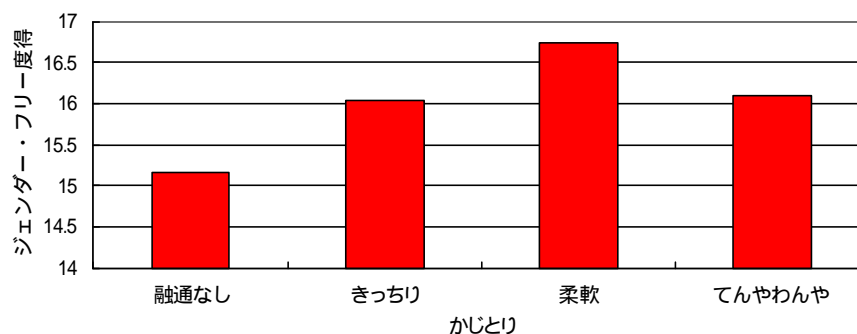


表45 問 25 - 6(かじとり)とジェンダー・フリー度

かじとり	ジェンダー・フリー度 得点平均値	問
融通なし	16.00	わが家はみんな自分に決められている役割しかない
きっちり	16.38	家の決まりは皆が守るようにしている
柔軟	16.57	仕事や旅行に出てしばらく留守にすると、私の役割は誰かが代わりにしてくれる
てんやわんや	15.06	わが家はみんなで約束したことでなくてもそれを実行することはほとんどない

図45 問 25 - 6(かじとり)とジェンダー・フリー度

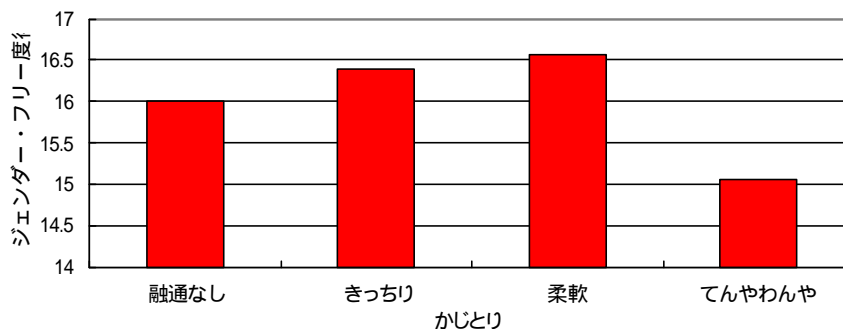
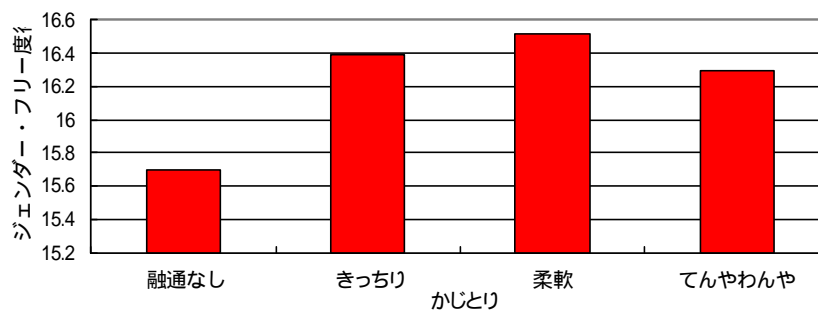


表46 問 25 - 8(かじとり)とジェンダー・フリー度

かじとり	ジェンダー・フリー度 得点平均値	問
融通なし	15.70	わが家では、特定の人の意見に皆がしたがうことが多い
きっちり	16.39	家でのそれぞれの役割ははっきりしているが、皆でおきないあうこともある
柔軟	16.52	わが家ではそれぞれの家での役割を気軽に交代することができる
てんやわんや	16.29	わが家では話し合いになっても、てんやわんやで話がまとまらない

図46 問 25 - 8(かじとり)とジェンダー・フリー度



< 家族関係が社会的信頼に与える影響 >

家族関係で、きずな・かじとりが中庸でバランスの取れている人は、社会的信頼が高い

きずな（問 25-4,5） かじとり（問 25-1,6,8）と社会的信頼得点の比較できずな・かじとりが中庸にバランスが取れた時、社会的信頼度が高かった。

表47 問 25 - 4(きずな)と社会的信頼

きずな	社会的信頼 得点平均値	問
バラバラ	25.64	家族のものは必要最低限のことは話す、それ以上はあまり会話がな
サラリ	27.44	たいがい各自好きになように過ごしているが、たまには家族一緒に過ごすこと
ピッタリ	27.70	大事なことは家族みんなできよく話し合う方だ
ベッタリ	27.35	家族はお互いの体によくふれあう

図47 問 25 - 4(きずな)と社会的信頼

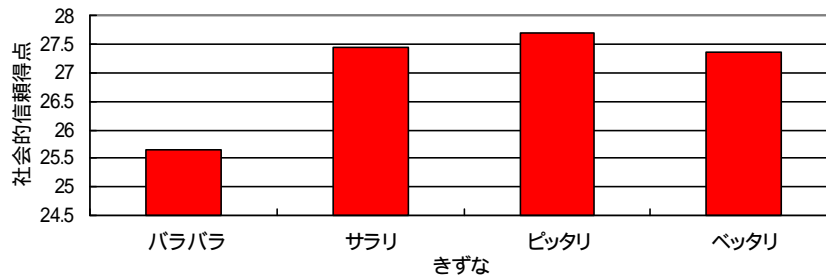


表48 問 25 - 5(きずな)と社会的信頼

きずな	社会的信頼 得点平均値	問
バラバラ	23.82	家族の間で、用事以外の関係は全くない
サラリ	26.96	我が家は、皆つかず離れずの関係である
ピッタリ	27.81	休日は家族で過ごすこともあるし、友人と遊びに行くこともある
ベッタリ	27.35	私の生活の中では家族と過ごす時間が非常に多い

図48 問 25 - 5(きずな)と社会的信頼

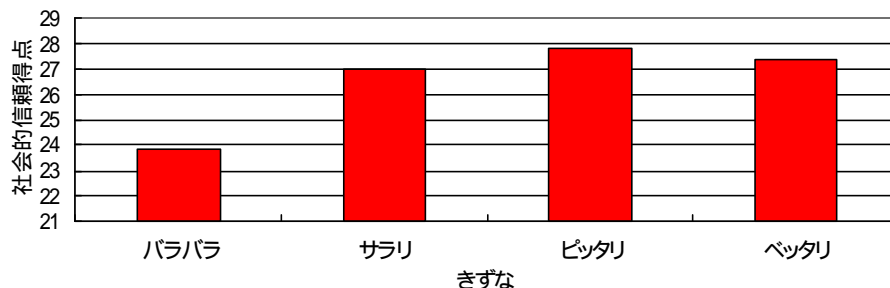


表49 問 25 - 1(かじとり)と社会的信頼

かじとり	社会的信頼 得点平均値	問
融通なし	24.86	困ったことが起こった時、いつも勝手に判断を下す人がいる
きちり	27.26	我が家では、特定の誰かが命令的に言うことも多いが、話し合うこともできる
柔軟	27.93	である。
てんやわんや	25.88	我が家では何か問題があってもとことん追いつめられないと、問題の解決方法 さえ話し合わない。

図49 問 25 - 1(かじとり)と社会的信頼

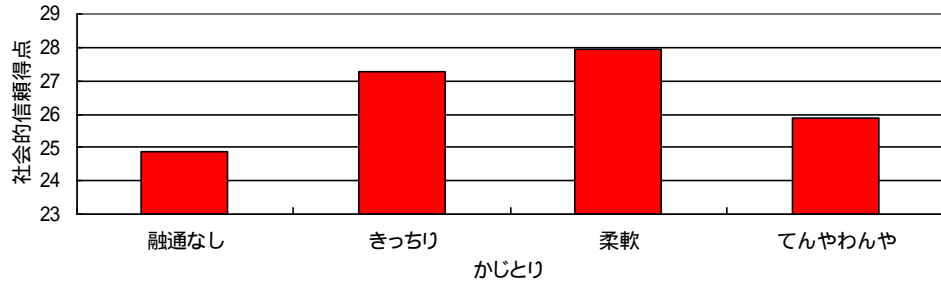


表50 問 25 - 6(かじとり)と社会的信頼

かじとり	社会的信頼 得点平均値	問
融通なし	26.32	わが家はみんな自分に決められている役割しかしない
きちり	27.41	家の決まりは皆が守るようにしている
柔軟	27.97	仕事や旅行に出れば留守にすると、私の役割は誰かが代わりにしてくる
てんやわんや	25.27	わが家はみんなで約束したことでもそれを実行することはほとんどない

図50 問 25 - 6(かじとり)と社会的信頼

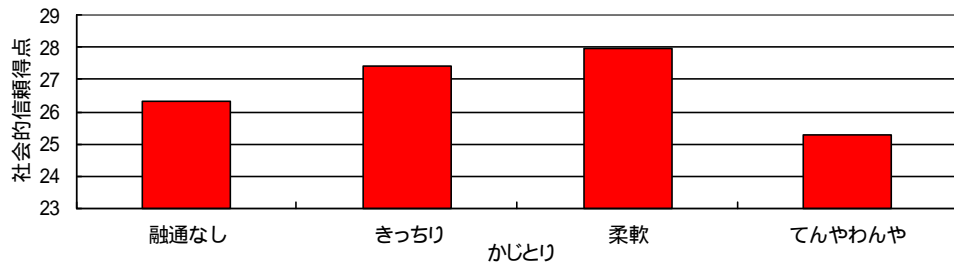
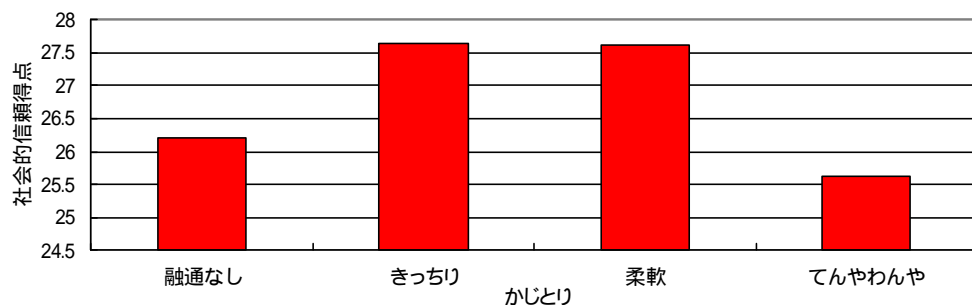


表51 問 25 - 8(かじとり)と社会的信頼

かじとり	社会的信頼 得点平均値	問
融通なし	26.21	わが家では、特定の人の意見に皆がしたがうことが多い
きちり	27.64	家でのそれぞれの役割ははっきりしているが、皆でおきないあうこともある
柔軟	27.61	わが家ではそれぞれの家での役割を気軽に交代することができる
てんやわんや	25.63	わが家では話し合いになっても、てんやわんやで話がまとまらない

図51 問 25 - 8(かじとり)と社会的信頼



< 家族関係が市民性に与える影響 >

家族関係で、きずな・かじとりが中庸でバランスの取れている人は、市民性が高い

きずな（問 25-4） かじとり（問 25-1,3,6,8）と社会的信頼得点の比較できずな・かじとりが中庸にバランスが取れた時、市民性が高かった。

表52 問 25 - 4(きずな)と市民性

	市民性 得点平均値	問
きずな		
バラバラ	-0.67	家族のものは必要最低限のことは話す、それ以上はあまり会話がな たいがい各自好きになように過ごしているが、たまには家族一緒に過ごすことも ある
サラリ	0.03	
ピッタリ	0.23	大事なことは家族みんなでよく話し合う方だ
ベッタリ	-0.21	家族はお互いの体によくふれあう

図52 問 25 - 4(きずな)と市民性

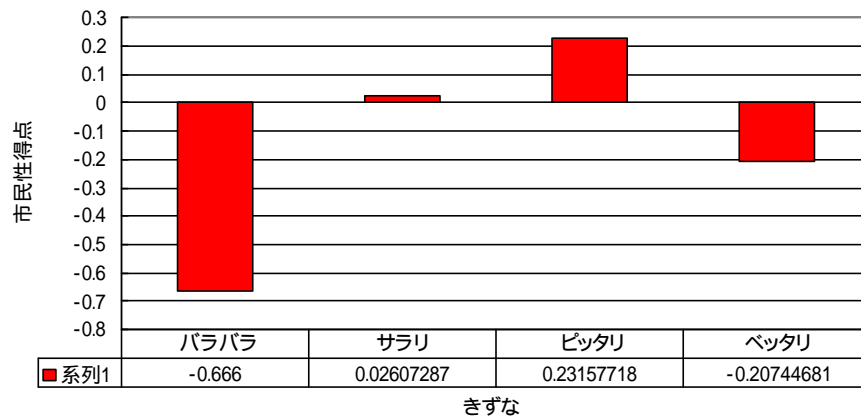


表53 問 25 - 1(かじとり)と市民性

	市民性 得点平均値	問
かじとり		
融通なし	-1.39	困ったことが起こった時、いつも勝手に判断を下す人がいる
きちり	0.05	我が家では、特定の誰かが命令的に言うことも多いが、話し合うこともできる 問題が起こると家族みんなで話し合い、決まったことはみんなの同意を得たこと である。
柔軟	0.18	
てんやわんや	-0.40	我が家では何か問題があってもとことん追いつめられないと、問題の解決方法 さえ話し合われない。

図53 問 25 - 1(かじとり)と市民性

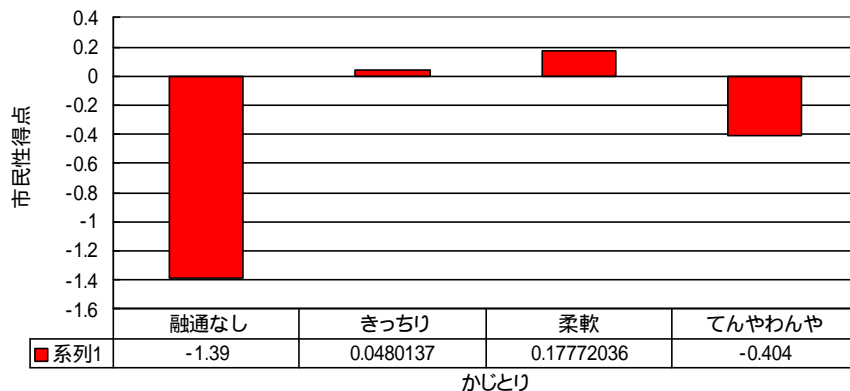


表54 問25-3(かじとり)と市民性

かじとり	市民性 得点平均値	問
融通なし	-0.21	問題が起こると家族で話し合いがあるが、物事の最終決定はいつも決まった人の意見がとおる
きっちり	0.08	我が家は問題が起こったとき、みんなの意見を聞いて誰かが判断を下す
柔軟	0.17	何か問題が起こったら、家族でいろいろと話し合い、一番よい解決方法を定める
てんやわんや	-2.03	我が家では家族で何か決めても、守られたためしがない

図54 問25-3(かじとり)と市民性

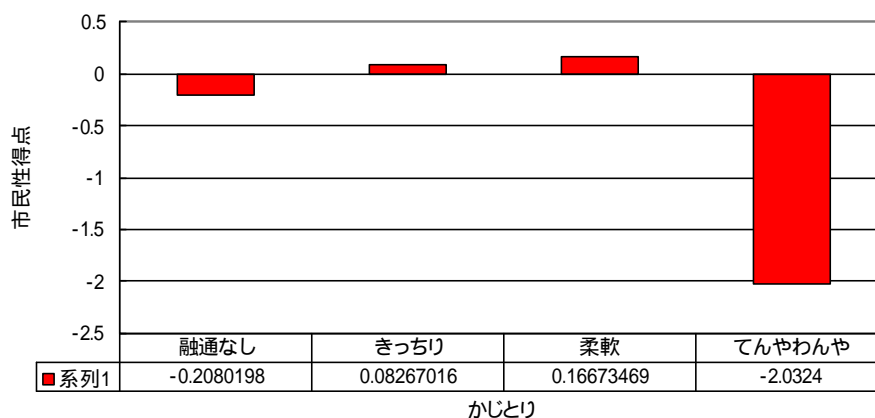


表55 問25-6(かじとり)と市民性

かじとり	市民性 得点平均値	問
融通なし	-0.32	わが家はみんな自分に決められている役割しかしない
きっちり	0.12	家の決まりは皆が守るようにしている
柔軟	0.20	仕事や旅行に出れば留守にすると、私の役割は誰かが代わりにしてくれる
てんやわんや	-1.51	わが家はみんなて約束したことでもそれを実行することはほとんどない

図55 問25-6(かじとり)と市民性

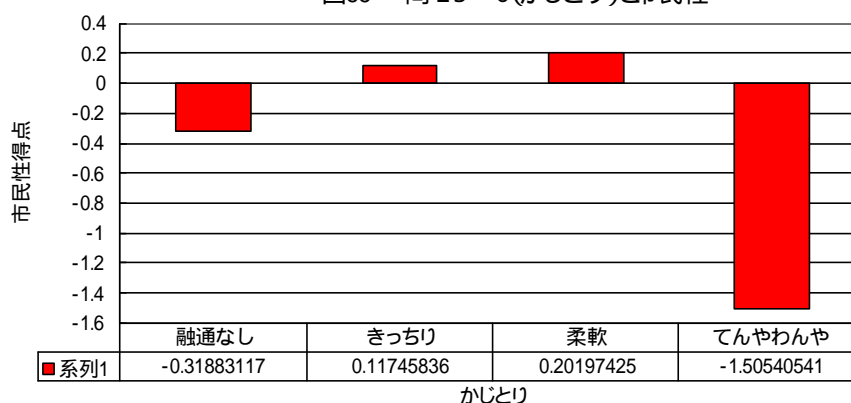
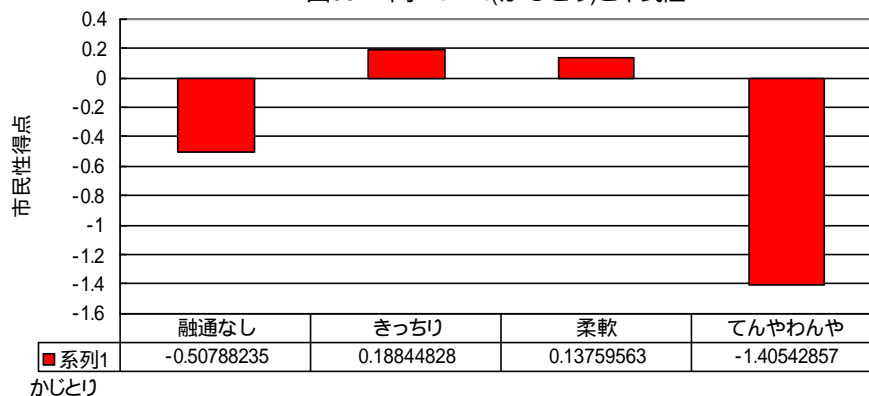


表56 問 25 - 8 (かじとり)と市民性

かじとり	市民性	問
	得点平均値	
融通なし	-0.51	わが家では、特定の人の意見に皆がしたがうことが多い
きっちり	0.19	家でのそれぞれの役割ははっきりしているが、皆でおぎないあうこともある
柔軟	0.14	わが家ではそれぞれの家での役割を気軽に交代することができる
てんやわんや	-1.41	わが家では話し合いになっても、てんやわんやで話がまとまらない

図56 問 25 - 8(かじとり)と市民性



< 家族関係が母性神話の信奉度に与える影響 >

家族関係で、きずな・かじとりが中庸でバランスの取れている人は、母性神話の信奉度が低い

きずな（問 25-2,5） かじとり（問 25-8）と母性神話の信奉度得点の比較できずな・かじとりが中庸にバランスが取れた時、母性神話の信奉度が低かった。

表57 問 25 - 2(きずな)と母性神話の信奉度

きずな	母性神話	問
	信奉度得点平均値	
バラバラ	18.52	夫婦ともお互いの気持ちを考慮して物事を考えることが少ない
サラリ	18.45	子どもが落ち込んでいる時はこちらも心配になるが、あまり聞いたりしない
ピッタリ	18.57	夫婦でいると安心できる
ベツリ	18.92	誰かの帰りが遅い時には、その人が帰るまでみんな起きて待っている

図57 問 25 - 2(きずな)と母性神話の信奉度

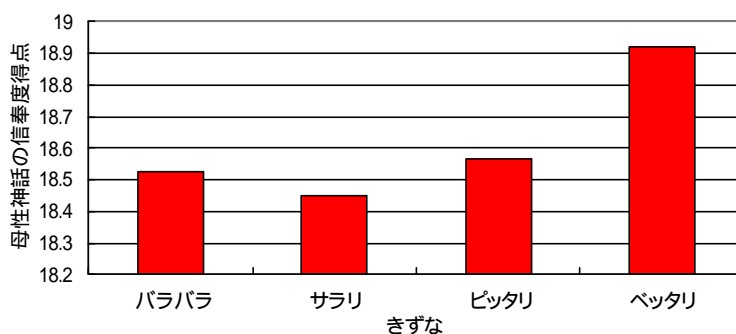


表58 問25-5(きずな)と母性神話の信奉度

きずな	母性神話	
	信奉度得点平均値	問
バラバラ	19.73	家族の間で、用事以外の関係は全くない
サラリ	18.72	我が家は、皆つかず離れずの関係である
ピッタリ	18.49	休日は家族で過ごすこともあるし、友人と遊びに行くこともある
ベッタリ	18.59	私の生活の中では家族と過ごす時間が非常に多い

図58 問25-5(きずな)と母性神話の信奉度

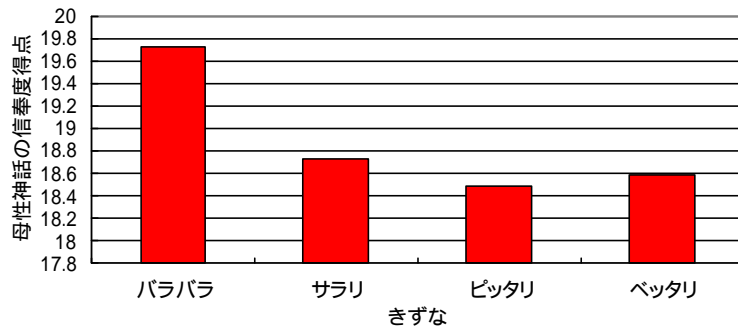
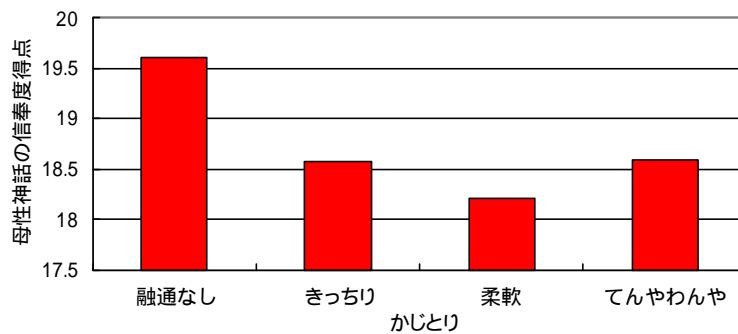


表59 問25-8(かじとり)と母性神話の信奉度

かじとり	母性神話	
	信奉度得点平均値	問
融通なし	19.61	わが家では、特定の人の意見に皆がしたがうことが多い
きっちり	18.57	家でのそれぞれの役割ははっきりしているが、皆でおぎないあうこともある
柔軟	18.20	わが家ではそれぞれの家での役割を気軽に交代することができる
てんやわんや	18.59	わが家では話し合いになっても、てんやわんやで話がまとまらない

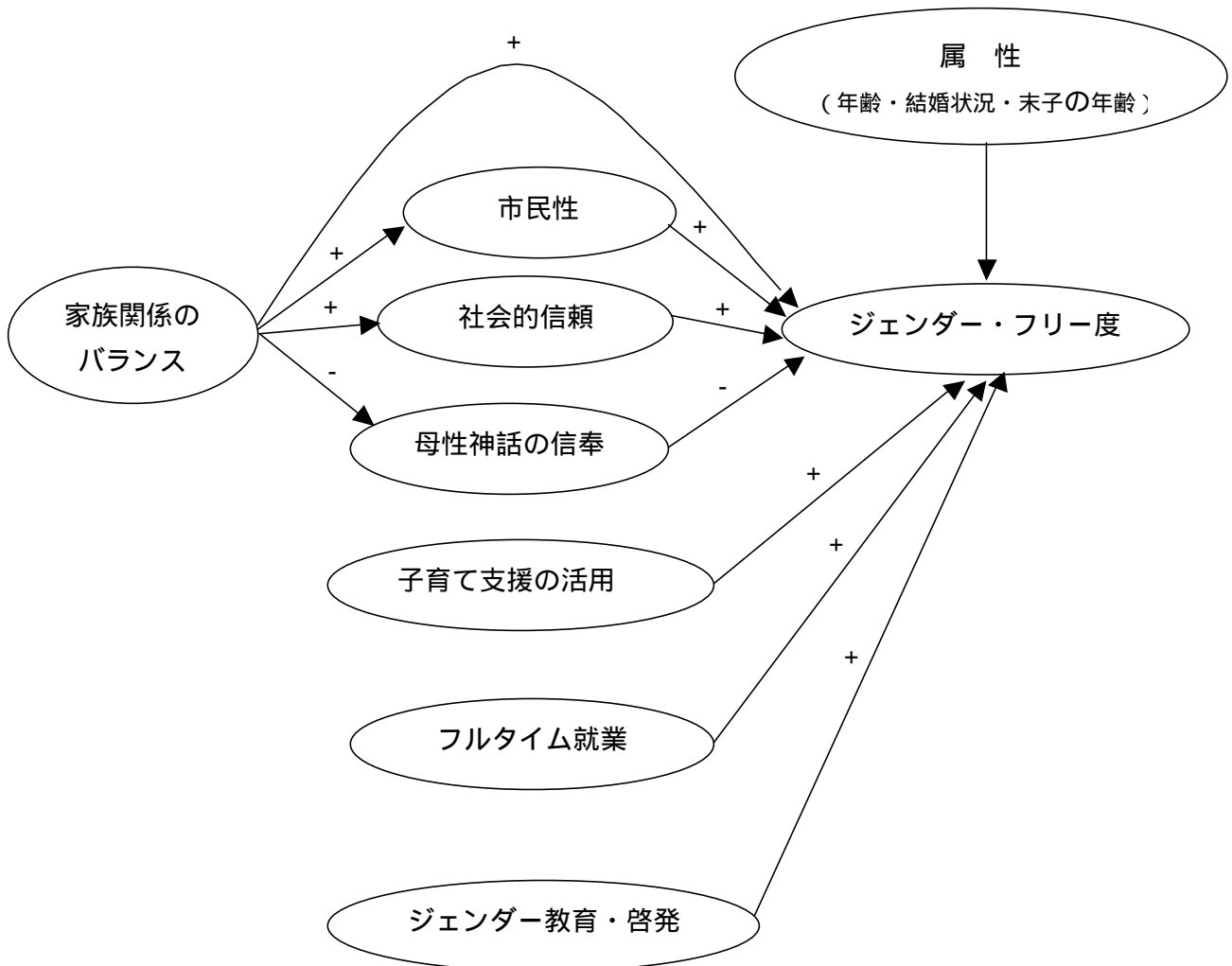
図59 問25-8(かじとり)と母性神話の信奉度



ジェンダー・フリー度に影響を与える要因のまとめ

結果をまとめて図示すると以下のようなになる（図 60）。

【図 60】



ジェンダー・フリー度を高めたり、低めたりする要因のまとめ

ジェンダー・フリー度に直接影響を与える要因には、8つある。その8つとは、属性、家族関係のバランス、市民性、社会的信頼、母性神話の信奉、子育て支援の活用、フルタイム就業、ジェンダー教育・啓発である。属性に関しては、年齢・結婚状況・末子の年齢の3カテゴリーがジェンダー・フリー度に影響を与えていた。ジェンダー・フリー度を高める促進要因は属性以外の7要因、家族関係のバランス、市民性、社会的信頼、子育て支援の活用、フルタイム就業、ジェンダー教育・啓発であった。ジェンダー・フリー度を高める阻害要因は母性神話の信奉の1要因であった。なお、市民性、社会的信頼、母性神話の信奉は家族関係のバランスに影響を受けていた。

すなわち家族関係のバランスが中庸であると、市民性・社会的信頼は高くなり、逆に母性神話の信奉は低くなることがわかった。以上の属性を除く7要因について行政の対応が可能であると考えられる。

【用語説明】

1. 「統計的に意味のある差が見られた」

有意性検定（関連語：統計的有意・有意水準）を行なった結果、統計的仮説検定の手順において、調査結果が統計的に意味を持つことがわかった時に使う。「統計的に意味がある（統計的に有意である）」とは、例えば、A,B の製品の嗜好テストの評価差があまりに大きくて、両製品が同品質なのに、たまたまそのような結果が現れたとは、統計的にはとても考えられないという時に使用する。A,B の製品が同品質と仮定したときに、その下でテスト結果（A,B の製品の評価差）が出る確率を計算し、その確率が小さければ「統計的に意味がある（統計的に有意である）」と判断する。この時の確率を有意水準といい、 $p < .01$ （100 回に 1 回未満の確率で起こりうる、1%水準）、 $p < .05$ （100 回に 5 回未満の確率で起こりうる、5%水準）などを用いることが多い。一般的に、5%水準未満のものを「統計的に有意である」という。

2. カイ自乗検定（カイ二乗検定²）

統計的仮説検定の手法のうち、カイ二乗分布（あるものの集合において、特定の変数の値がどのようになっているかの総体的様相の代表的一種）を用いる検定法の総称。度数同士を比較する検定に用いられる。

3. コレスポネンス分析

質問に対する回答のパターンに注目し、パターンが似ている回答者と似ていない回答者を分類するための手法である。この手法は質問項目同士の関係も同時に分析することができる

4. 主成分分析

多数の指標を、少数の合成指標で表そうとする分析手法。 $f = Xw$ という乗積モデルを基にしている。

5. 標準偏差（SD）

度数分布におけるデータの広がり（バラツキ）の程度、いわゆるバラツキを表す値の 1 つ。データの平均値を求めた後、個々の値と平均との差を求め、その差を二乗して足す。その値をデータ個数 $n - 1$ でわり算しその平方根を求めたもの。

統計用語については、以下の文献を参考にした。

《参考文献》

- 飽戸弘「社会調査ハンドブック」日本経済新聞社、1987
- 新井喜美夫 編「マーケティング用語辞典」東洋経済新報社、1986
- 朝野熙彦「入門 多変量解析の実際」講談社サイエンティフィック、1996
- 後藤秀夫「市場調査ケーススタディ」みき書房、1996

- 猪股清二「統計学ハンドブック」聖文社、1990
- 岩淵千明「あなたもできる データの処理と解析」福村出版、1997
- 小川一夫 監修「改訂新版 社会心理学用語辞典」北大路書房、1995
- 芝祐順・渡部洋・石塚智一 編「統計用語辞典」新曜社、1984
- 豊田秀樹・前田忠彦・柳井晴夫「原因をさぐる統計学」講談社ブルーバックス 1997